

- (4) 中標津町の町民ファシリテーター登録制度について
- (5) 町民ファシリテーターのお試し参加について

■令和3年度会議 第3回会議報告より

<https://www.nakashibetsu.jp/chousei/shisaku/jichikihonjourei/kaisaihoukoku/>

また、先日、本間委員が所属しているなかしべつ町民活動ネットワーク（N-CAN）さんより町に対して「対話による協働のまちづくり」実現に向けての提案書を提出いただいた。担当課としては、役場と団体のみでなく自治推進会議の中でこの提案に対する議論をしてはいいかがかと考えている。具体的には町民のファシリテーターを育成し、町で登録制度を作り活躍の場を与えてはどうかという提案となっている。こちらを引き継ぎ事項として加えるかどうか、他に話し合ってほしい意見があればこの場で承り時期委員に引き継ぎたい。

※下線は本間追加

東田ファシリテーター

答申書に記載している内容は引き継ぐことでよいか。⇒異議なし

N-CAN からの提案は別組織を設置し検討してほしいと提案したものであるが、自分達の町は自分達の話し合いで決めていくというのが自治であるため、自治推進会議という場を用いて来年度以降協議してもらおうのがよいのではと企画課から回答があった。こちらについては引き継ぎ事項に加えてよいか。⇒異議なし

委員

話し合いが楽しくなりそうでとても良い。参加する人もそういうネタがあった方がよいと思う。

■令和4年度会議 第1回会議報告より

N-CANからの提案について

本間委員

個々がお互いを受け入れあう「対話」というスキルを学んでいれば町内の様々な話し合いが促進されるのではないかと考え、去年N-CANでは町から補助金をいただき町民ファシリテーター養成講座を開いた。町民自分たちの力で町を変えていけるよう、今後もまちづくりの現場を支えていってほしいという思いから、前期最後の自治推進会議の中で、町民ファシリテーターの登録制度を町として作ってくれないかとお願いしたところ、いいですよと回答をもらった。改めて検討いただきたい。

東田ファシリテーター

会議の司会進行や、議題を取りまとめて見える化する、時間管理をする役目はファシリテーター、ファシリテーションの技術。その技術を習得した町民ファシリテーターを町の制度として登録し、会議に入り込んでもらう。静岡県牧之原市ではすでに市民ファシリテーター制度が登録されていて、中には行政職員も市民ファシリテーターとして活躍しているなど全国的に広がってきている。

N-CANからの提案の内容は、中標津町ではどういう仕組みの登録制度を作るか、を自治推進会議で話し合ってもらえませんか、制度を作るお手伝いをしてくれませんかというものと、N-CANに所属している町民ファシリテーターが現在の私の立場と取り替わり、お試しで自治推進会議のファシリテーターとして参加させてもらえませんかというもの。ただ、いきなり任せることはできないので、第3回会議から少しずつ入り込んでいけるよう、次回から話し合いを進めていただきたい。

⇒委員賛成により検討を進めることで決定

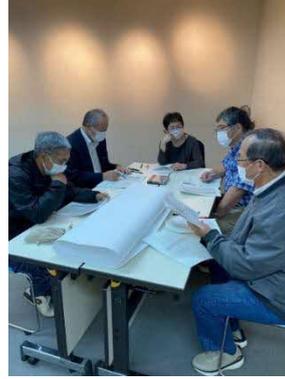
委員

町民ファシリテーターに報酬はでるのか。

東田ファシリテーター

完全に引き継げれば私の分をそのままお渡しできるがそれまでではない。

■ 令和4年度の町民ファシリテーターの活動
 ・ 9月22日 まちづくり町民会議 空き家編



・ 10月23日 まちづくり町民会議 どうする？人口減少!!編



・ 12月8・9日 まちづくりを考える懇談会（計根別・中標津市街地）

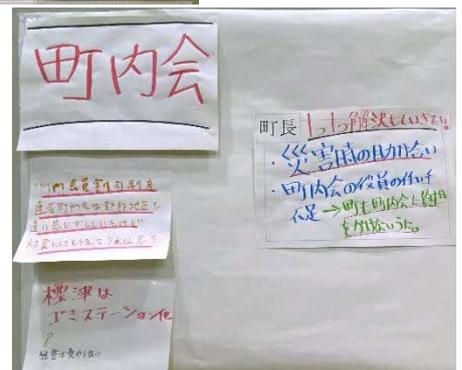
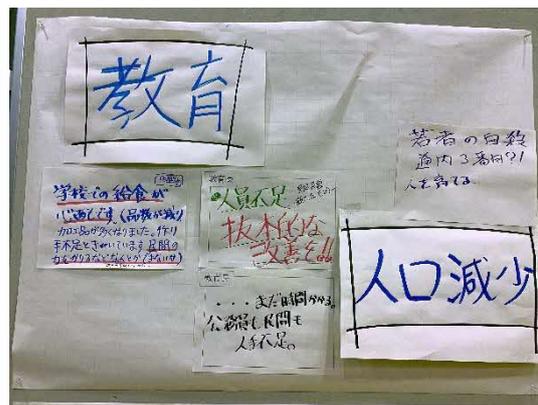
まちづくりを考える懇談会

中標津町をより良く、住み続けたいまちにするため「こうなればいいな」「こんなことしたいな」と思うことを、町長と直接話し合いませんか？
 町民の皆さんどなたでも自由に参加いただけますので、多くの方のお越しをお待ちしています。

日時	場所
12月8日(木) 19時30分	計根別交流センター 【対象地区】計根別(市街地含む)・豊里牛・上標津地区
12月9日(金) 19時30分	総合文化会館コミュニティホール 【対象地区】中標津市街地
12月19日(月) 13時30分	中標津町農業協同組合2階大会議室 【対象地区】巻崎・志高・岡崎・磯地地区
12月20日(火) 13時30分	中標津町農業協同組合2階大会議室 【対象地区】巻竹・若竹・第二保路・畑根・富岡・扇形・南中地区

※対象地区は目安となりますのでご都合のつく日にお越しください。
 ※ご参加の際はマスクの着用をお願いします。

【お問い合わせ先】政策推進課 企画調整係 073-3111(内線324)



■ 今後に向けて

町民ファシリテーターは、登録はしたものの、うまく進行できるか不安を持っている。プロのファシリテーターに勉強させてもらう機会として、この会議の打ち合わせから当日の進行までに関わり、安心して挑戦できる現場で経験を積みながら移行していくことができれば、今後の大きな強みになると考える。

また、今年度はもともとファシリテーターのいる話し合いが有効と考えている部署が、あらかじめ制度創設前であっても町民ファシリテーターへの報酬を予算計上してくれていた。そこで、来年度新たに町民との話し合いで町民ファシリテーターを活用したいと思った部署が、当初は予算をつけていなくても協働推進係に相談すれば町民ファシリテーターを活用できるよう、費用弁償程度の報酬分の予算を、町民ファシリテーター登録制度の将来的な本格運用を検討するための調査研究費用として検討してもらえないか。